

テルモヨーロッパ: ECC から S/4HANA への完璧な移行



お客様プロフィール

医療テクノロジー

Webサイト

www.terumo-europe.com

所在地

ヨーロッパ

要件

S/4HANA の迅速なアップグレード
利用可能なリソースを活用したコスト低減
法規制への対応 エンドユーザーの参画 テスト
プロセス全体の可視化

インパクト

9ヶ月で大規模なマイグレーションを実現
40,000行以上のコードを修正
4,050件の問題を自動修正
すべてのテスト操作を文書化
テストの進捗をリアルタイムで追跡
国際的に調整されたテスト
リスクベースの分析により8,000件の脆弱
性を検出

テルモ ヨーロッパについて

テルモヨーロッパは、EMEAヘルスケア市場において、最高品質の製品とサービスを提供しています。22の拠点と5つのビジネスユニットを持ち、EMEA全体で1,500人以上の従業員を擁しています。

テルモヨーロッパは、本社をベルギーのルーベンに置き、ルーベン、リバプール（英国）、デヴェンター（オランダ）に製造拠点を、ゲンク（ベルギー）に欧州物流センターを有しています。

テルモヨーロッパは、医療機器と医薬品の開発・製造・販売で世界をリードする日本のテルモ株式会社の子会社です。

コングロマリットには104の子会社、32のグローバル生産拠点があり、総従業員数は26,482人です。

課題

テルモヨーロッパは2012年からSAPの顧客となり、かなり大規模なSAPソリューションのポートフォリオを持っています。SAP S/4HANAの登場で、同社はビジネスプロセスの強化と最先端のデジタル技術を求め、SAP ECCからのアップグレードを検討しました。またテルモヨーロッパは、S/4HANAを利用する他のテルモ事業体と連携し、グローバルなビジネスプロセスの標準化、一貫した精度、ビジネスKPIの可視化の俊敏性を促進したいと考えました。

このような規模のアップグレードには、当然ながら、時間とリソースのバランスを取りながら、納期を守り予算内に納めるという課題があります。

同社が、できるだけ短期間に、必要最小限の労力でアップグレードすることを求めた主な理由は、このプロセスがビジネスに及ぼす潜在的な混乱でした。

SAPソリューションの利用者にできるだけ負担をかけないようにするため、テルモヨーロッパは、自社のシステムの複雑さを考慮し、計画されている変更についてできるだけ多くの情報を求めました。

さらに、医療機器業界は規制が厳しく、ミスが許されないという事実が負担を大きくしています。そのためトレーサビリティと呼ばれる最大限の可視性は、すべての変更管理において不可欠です。

最後に、ITチームはアップグレードの方法（グリーンフィールドかブラウンフィールドか）とその理由を決定しなければなりませんでした。

課題

Panayaは当初からテルモヨーロッパがS/4HANAアップグレードに関して正しい判断を下すために必要な分析を提供し、異なるバージョンのSAPパッケージを採用した場合の影響について事前に知識を提供しました。その情報をもとに、同社は苦労して築いた強固な基盤をもとに、(グリーンフィールド導入ではなく) ECCからS/4HANAへの移行を決断したのです。

テルモヨーロッパのITマネージャーであるPieter Tombeur氏は、「新しいシステムが導入されすべてが安定すると、安心して仕事ができるようになります。技術的な手間をかけずに、より革新的な変化をサポートする時間が持てるようになります」と述べています。

そして、テルモヨーロッパは、Panaya Test Dynamixを移行時のテスト管理に、S/4Convertを追加の影響分析およびプロジェクト実行に使用しました。

分散型サンドボックスの実現

プロジェクトは、フォローアップ分析とPanayaが推奨するテストを伴う、必要なコンバージョンタスクの実行から始まりました。コードの修正後、サンドボックス環境でユニットテストと完全なエンドツーエンドの統合テストを実施し、すべての要件に応えられることを確認しました。その後、本番環境に移る前に、開発環境でコンバージョンが繰り返されました。

成功要因のひとつは、UATフェーズです。テルモヨーロッパの主要なビジネスユーザー170名以上が複数のテストを実施しました。このテストは、複数の国において同時に、しかもパンデミックの制約から、完全にリモートで実施するよう調整する必要がありました。

「Panayaはこのような分散化したテスト活動をサポートするために重要な役割を果たしました」とPieterは説明します。「また人々のオンボーディングのために多くの時間を費やす必要はありません。Panayaがなかったら、この期限は絶対に達成できなかったでしょう」

エンドツーエンドのインパクト

ECCからS/4HANAへのコンバージョンは予算内で、厳しいスケジュールに沿って、わずか9ヶ月で完了しました。Pieterは「Panayaは多くの負担を取り除く巨大なアクセラレータである」と言っています。

- テストドキュメントの自動作成、焦点を絞ったリスクベースのテスト、およびテスト作業調整により、要件と時間およびリソースがバランスがとられます。
- Panayaに備わっている記録機能により、規制遵守が保証されます。
- 影響分析と作業の絞り込み機能により、SAPの標準的な代替案よりもはるかに直感的に理解できる結果が得られました。約8,000の影響するエントリーポイントを特定し、関連するユニットテストが自動的に推奨されました。
- 豊富なPanayaテストリポジトリは、プロジェクトの迅速な成功に不可欠でした。
- 自動コード修正機能により、開発側の工数が削減されました。
- プロジェクトマネージャーは、Panayaのリアルタイムの可視性と豊富なダッシュボードを気に入りました。それは、作業、進捗、不具合、リスク、ベストプラクティス、および各変更のコードへのドリルダウンを表示します。
- Panayaのレポートとガイダンスは、技術にあまり詳しくないユーザーから最も詳しいユーザーまで、幅広いユーザーにメリットをもたらします。

品質の高さを実感

「品質が示しています」とPieterは指摘します。
「1ヶ月のハイパーケアで本番を迎えましたが、重大な不具合はゼロでした」

この成功により、テルモヨーロッパはイノベーションのステージへと進んでいます。これには、FioriやビジネスインテリジェンスAppの追加、SAPの新機能の取り込み、ヨーロッパの姉妹会社からのビジネスへの導入などが含まれます。彼らはこれらの変更すべてを管理し、その影響を分析し、結果をテストするためにPanayaのソリューションを使い続けます。